datavideo®

3G/HD 対応 17.3 インチワイド液晶ビデオモニター

TLM-170P / PR / PM

取扱説明書

株式会社エム・アンド・アイ　ネットワーク

目次

サポート窓口 ----------1
モデルタイプ----------2
内容物 ----------2
概要 ----------2
特長 ----------3
サポート形式 ----------4
各部の名称と機能
フロントパネル ----------5
リアパネル----------6
Menu オプション
MAIN ADJUST　主要な画面調整 ----------7
COLOR ADJUST　色温度設定 ----------7
SCAN SETTING　スキャン設定----------8
INFORMATION ----------8
PIP SETTING　PIP 設定----------8
LANGUAGE　言語設定----------8
SETUP MENU　無操作時の終了時間設定 ----------8
SPECIAL FUNCTION Ⅰ　特殊機能設定Ⅰ ----------9
16:9 モードで 4:3 マスクを使用する ----------9
セーフティエリアを表示する ----------10
SPECIAL FUNCTION Ⅱ　特殊機能設定Ⅱ ----------10
SETUP NETWORK　ネットワーク設定----------10
UPDATE F.W.　F.W.アップデート ----------11
FACTORY RESET　工場出荷時設定リセット----------11
AUDIO CONTROL　オーディオ設定 ----------11
FUNCTION（ファンクション）ボタン – ピクセルズーム機能 ----------11
ファームウェアアップデート設定----------12
パソコンからの遠隔操作によるモニター設定----------13
TLM-170PR に 19 インチラックイヤー金具を取り付ける----------17
TLM-170PM を 19 インチラックに取り付ける---------- 18
仕様 ----------19

サポート窓口

株式会社エム･アンド･アイ　ネットワーク　DataVideoサポート係

〒104－0033

東京都中央区新川2－1－7

TEL：03－3552－7241　FAX：03－3552－7242　MAIL：mail@min.co.jp

URL：http://www.datavideo.jp

モデルタイプ

TLM-170P	TLM-170PR	TLM-170PM
デスクトップ型	7U 19 インチラックマウント型	1U サイズ引出式ラックマウント型

内容物

製品には下記の部品が含まれます。いずれかの部品が同梱されていない場合は、取扱店まですぐにご連絡下さい。

内 容	TLM-170P	TLM-170PR	TLM-170PM
3G/HD 対応 17.3 インチワイド液晶ビデオモニター	1	1	1
デスクトップスタンド	1	–	–
7U ラックマウント金具	–	2	–
AC/DC 変換アダプタ(DC12V 3.0A)	1	1	1
AC パワーコード	1	1	1
ネジ M3×6mm	–	8	–
ネジ M5×10mm	–	8	8
取扱説明書(本書)	1	1	1

概要

TLM-170P は、3G-SDI を含む様々な入力形式から FULL HD 1080P を表示できる 17.3 インチの TFT 液晶モニターです。このモニターは様々な形式・標準の領域で優れた色・ビデオパフォーマンスを表現できるように設計された最高級のパネルです。

TLM-170P のフロントパネルのボタンで、入力ソースや PIP、アスペクト比、ブルーオンリー、パターン(カラーバー)、メニューなどの選択や音声の調整が行えます。3G/HD/SD ソースの入力はリアパネルの SDI、HDMI、コンポーネント(Y, Pb, Pr)、コンポジット端子で接続します。同様に音声は、RCA モノラル端子、または、SDI/HDMI エンベデッドオーディオで接続します。

TLM-170P にはオンスクリーンメニューがあります。メニューでブライトネスやコントラスト、サチュレーション、ティント、シャープネス、色温度、ピクチャーインピクチャーの調整や設定が行えます。また、PC や Mac のウェブブラウザからモニター設定を変更する為の RJ-45 TCP/IP コネクタが付いています。
また、フレームマーカーや、4:3 マスク、16:9 マスク、シネマゾーンマーク、センターポイント、エンベデッド SDI タイムコード、モニターのタイトルなどのオーバーレイ表示もできます。

TLM-170P に12V の AC/DC 電源があれば、スタジオ、ギャラリー、編集室、中継車など様々な場所で使用することができます。

特長

フロントパネル

- 17.3 インチ高解像度（1920×1080 ピクセル）TFT ワイド液晶モニター
- ソースセレクトボタン、ファンクションボタン
- アスペクト切替ボタン、ピクチャーインピクチャー、ブルーオンリー、パターンボタン
- オーディオレベルとミュートボタン
- ヘッドホンジャック（3.5mm）
- 2 色のタリーインジケーター (RED / AMBER)
- 電源ボタン

リアパネル

- DC 電源入力 12V 2.5A（付属の AC アダプタは、12V 3.0A 用）
- 主電源 ON / OFF スイッチ
- チルト調整可能 (TLM-170P、TLM-170PM のみ)

ビデオ入力

- 3G/HD/SD-SDI（BNC）入力とループスルー出力
- HDMI (Ver. 1.3)×2 系統
- コンポーネント（BNC×3）×1 系統
- コンポジット（BNC）×2 系統、CV2 のみアクティブスルーアウト付き
- PAL / NTSC 自動認識

オーディオ入力&出力

- アナログビデオ入力に対応するアナログオーディオ入力。RCA×モノラル 3 系統（コンポーネント、コンポジット×2）
- 3G/HD/SD-SDI エンベデッドオーディオ
- HDMI(Ver.1.3)エンベデッドオーディオ
- スピーカー出力接続 (L-,L+,R-,R+) 最大 5v p-p（2W）

メニュー機能

- アンダースキャン / オーバースキャン表示
- ブライトネス、コントラスト、サチュレーション、ティント、シャープネスの調整が可能
- 調整可能な色温度設定。標準設定（6500K, 7500K、9300K）に加えてユーザーによるカスタマイズが可能
- 選択可能な PIP ソースと表示位置設定
- 内外部スピーカーのミュートコントロール
- オンスクリーン音声レベルインジケーター
- センターマーク、4:3、16:9、シネマゾーン、フレームマーカーのオーバーレイ表示
- 3G/HD/SD-SDI 信号をモニター内にタイムコードを表示可能
- 画面で確認しながらでタイトルをセーフティエリア内に編集
- LCD バックライト調整
- モニターの設定を工場出荷状態へリセット

サポート形式

フォーマット	TLM-170 P のインタフェース			
	HDMI	SDI	YPbPr	コンポジット
1920x1080P @ 59.94	○	○	x	x
1920x1080P @ 60	○	○	x	x
1920x1080P @ 50	○	○	x	x
1920x1080P @ 29.97	○	○	○	x
1920x1080P @ 25	○	○	○	x
1920x1080P @ 30	○	○	○	x
1920x1080P @ 23.98	○	○	○	x
1920x1080P @ 24	○	○	○	x
1920x1080P @ 23.98SF	x	x	x	x
1920x1080P @ 24SF	○	x	x	x
1920x1080i @ 59.94	○	○	○	x
1920x1080i @ 60	○	○	○	x
1920x1080i @ 50	○	○	○	x
1280x720P @ 59.94	○	○	○	x
1280x720P @ 60	○	○	○	x
1280x720P @ 50	○	○	○	x
1280x720P @ 23.98	x	x	x	x
1280x720P @ 24	x	x	x	x
720 x 480i (NTSC)	○	○	○	○
720 x 576i (PAL)	○	○	○	○

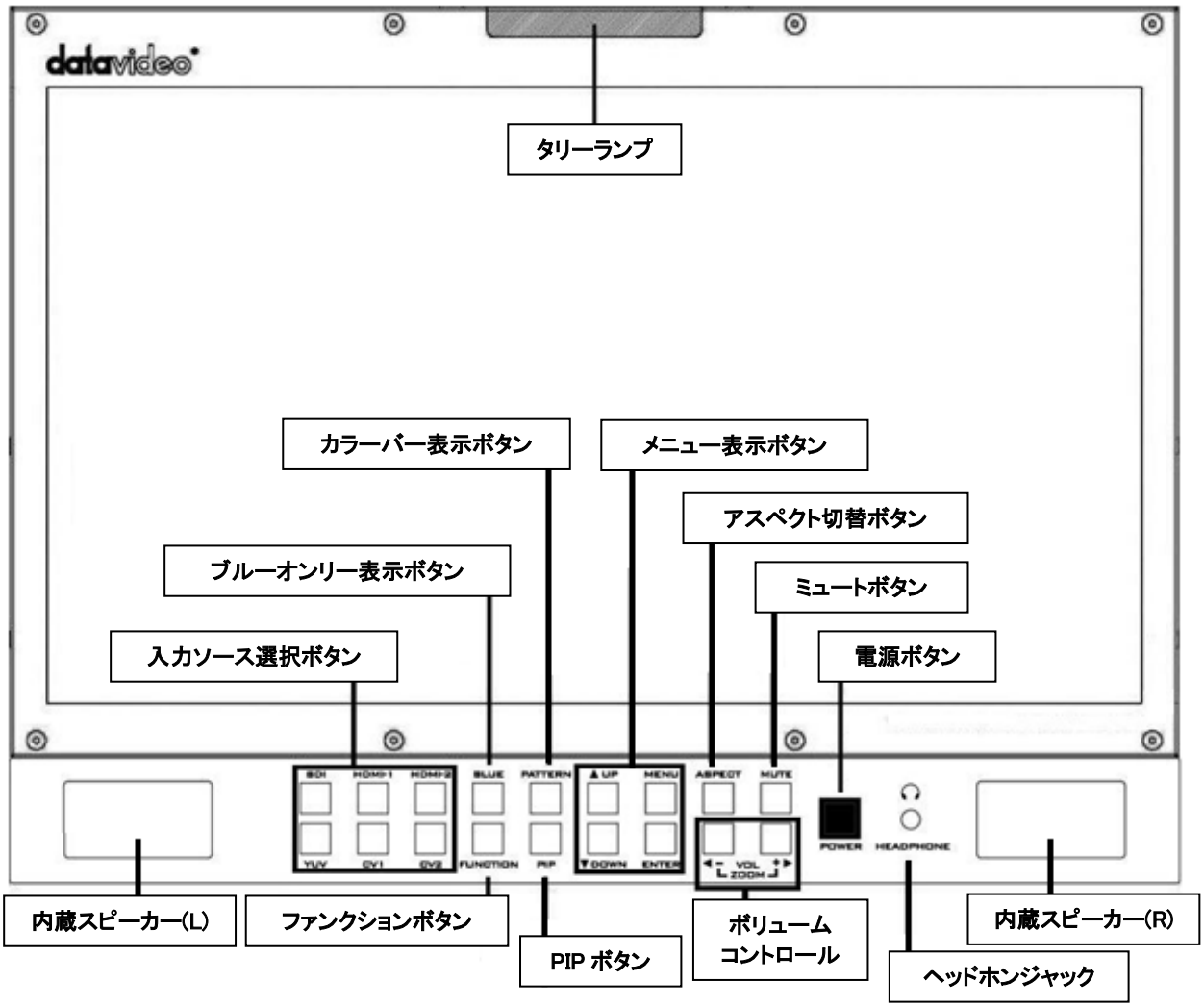
TLM-170P は、パソコンの垂直同期周波数 60Hz に対応しています。対応する解像度については下表をご覧ください。
パソコンとの接続には DVI-HDMI ケーブルを使用します。

TLM-170P の画面解像度は 1920×1080 ピクセルである為、特定の解像度ではわずかに縁が切り落とされることがあります。またアスペクトボタンで 16:9 と 4:3 を切替えたときに、解像度を変えて表示されることがあります。

	解像度	アスペクト比
SVGA	800 x 600	4:3
XGA	1024 x 768	4:3
	1152 x 864	4:3
WXGA	1280 x 768	16:9
WXGA	1280 x 800	16:10

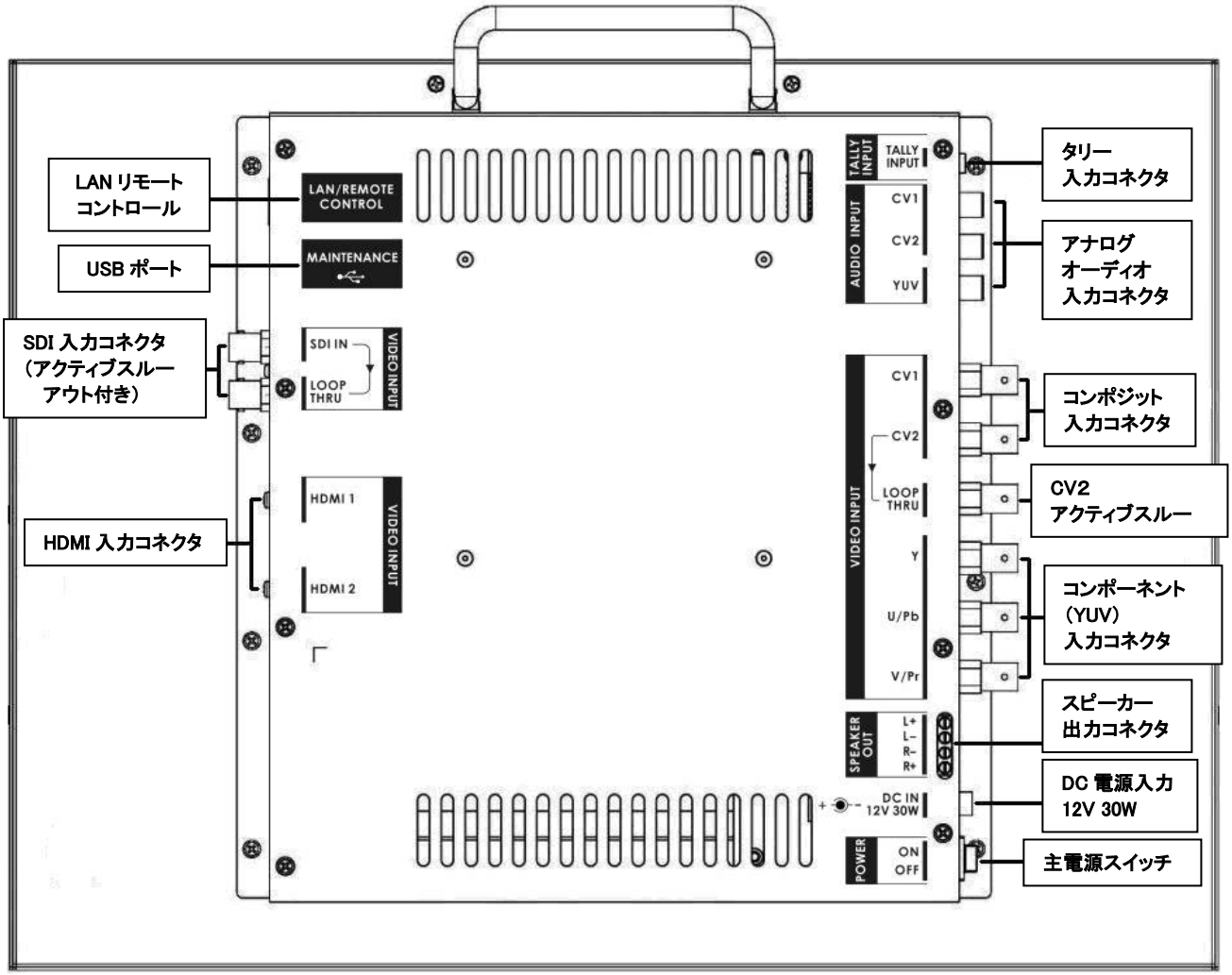
各部の名称と機能

フロントパネル



タリーランプ	ライブ（赤）かキューブ（アンバー）を示します。
入力ソース選択ボタン	入力タイプを選択します。 SDI、HDMI 、YUV、CV。 選択されたソースボタンは LED が赤色に点灯します。
ブルーオンリー表示ボタン	BLUE ボタンは、青色信号のみにします。このボタンを押して、入力信号の赤色と緑色の要素を削除します。入力の青色要素のみが画面に表示されます。 （フェーズ調整は NTSC 信号の時に効果的です）
カラーバー表示ボタン	PATTERN ボタンを押すと、画面に SMPTE 75%のカラーバーが表示されます。 再度 PATTERN ボタンを押すと通常の出力に戻ります。
メニュー表示ボタン	メニューボタンを押すと、画面にメニューが表示されます。 上▲/下▼ボタンで設定メニューを選び、ENTER ボタンで確定して下さい。 詳しくは MENU オプション(P7)をご覧ください。
ファンクションボタン	本ボタンを押すごとに、表示画面を 2 倍→4 倍→8 倍→等倍に拡大表示されます。 詳しくはFUNCTION（ファンクション）ボタン – ピクセルズーム機能(P11)をご覧ください。
PIP ボタン	PIP（ピクチャーインピクチャー）モードをアクティブにします。 詳しくは PIP 設定（P8）をご覧下さい。 PIP モードがアクティブな時は LED が赤色に点灯します。
アスペクト切替ボタン	アスペクト比を 16:9 / 4:3 に設定します。
ミュートボタン	内蔵スピーカーやヘッドホンからの音量を OFF にします。
ボリュームコントロール	内蔵スピーカー / ヘッドホンの音量を調節します。
電源ボタン	画面の ON / OFF を切り替えます。 ***注.主電源の ON / OFF スイッチは、本体の裏側にあります。***
ヘッドホンジャック（3.5mm）	ヘッドホン用。ヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーは自動的に OFF になります。

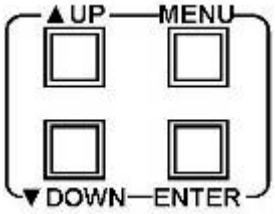
リアパネル



VESA（100mm × 100mm）仕様 取付穴	モニターをデスクトップスタンド等に取付けるために使用します。
LAN リモートコントロール	イーサネット RJ-45 クロスケーブル、またはストレートケーブルを使用し、直接 TLM-170P と PC RJ-45 ポートを接続します。 詳しくは、パソコンからの遠隔操作によるモニター設定(P13)をご覧ください。
USB ポート	ファームウェアアップデート用の USB ポートです。 詳しくは、ファームウェアアップデート設定(P12)をご覧ください。
タリー入力コネクタ	タリーライト情報はdatavideo TB-5 などから、3.5mm ステレオミニジャックを通り TLM-170P に送信されます。
コンポーネント（YUV）入力コネクタ	コンポーネント（BNC）入力
コンポジット入力コネクタ 1＆2	コンポジットビデオ（BNC）入力 CV2 のみアクティブスルーアウト付き
アナログオーディオ入力コネクタ	アナログビデオ入力（コンポジット 1＆2）に対応するアナログオーディオ入力
HDMI 入力コネクタ	ビデオ＆オーディオ HDMI 入力
SDI 入力コネクタ （アクティブスルーアウト）	アクティブスルーアウト付 HD/SD-SDI（BNC）入力
スピーカー出力コネクタ	スピーカー出力接続　最大 5v p-p（2W）
DC 電源入力　12V 30W	付属の AC/DC 変換アダプタのプラグを差込みます。プラグをコネクタに接続し、外側のリングを回して固定することにより、プラグが外れるのを防ぎます。
主電源スイッチ	ON /OFF を切り替える主電源スイッチ。

MENU オプション

TLM-170P / PR / PM は MENU からセットアップできます。
MENU ボタンを押すとオンスクリーンメニューが表示されます。メニューは UP (▲) / DOWN (▼)/- (◂) / + (▸)のボタンを使って操作し、ENTER ボタンでアクセス・選択をします。



メニューは次の13項目です:

MAIN ADJUST	*SPECIAL FUNCTION Ⅰ*
COLOR ADJUST	*SPECIAL FUNCTION Ⅱ*
SCAN SETTING	*SETUP NETWORK*
INFORMATION	*SETUP F.W.*
PIP SETTING	*FACTORY RESET*
LANGUAGE	*AUDIO CONTROL*
SETUP MENU	*EXIT 出口*

・*MAIN ADJUST　主要な画面調整*

BRIGHTNESS 明るさ	0~100
CONTRAST 対比	0~100
SHARPNESS 鋭さ	0~100
SATURATION 飽和	0~100
TINT 濃淡	0~100
BACK LIGHT バックライト	0~100
3D COMB （ビデオノイズ抑制機能）	DISABLE / ENABLE （無効にする/有効にする）
NR （ビデオ雑音低減機能）	HIGH / MID / LOW / OFF （高 /中 /低 /切）
MPEG NR （MPEG フォーマット雑音低減機能）	HIGH / LOW / OFF （高 /低 /切）
DLC （動的輝度コントロールの機能）	DISABLE / ENABLE （無効にする/有効にする）
VOLUME 音量	0~100
EXIT 出口	

・*COLOR ADJUST　色温度設定*

6500	RED 赤	41
	GREEN 緑	42
	BLUE 青	41
	EXIT 出口	
7500	RED 赤	39
	GREEN 緑	42
	BLUE 青	44
	EXIT 出口	
9300	RED 赤	37
	GREEN 緑	42
	BLUE 青	46
	EXIT 出口	
USER COLOR	RED 赤	0~100
（ユーザー指定）	GREEN 緑	0~100
	BLUE 青	0~100
	EXIT 出口	

・*SCAN SETTING　スキャン設定*

UNDER SCAN アンダースキャン	全画面
OVER SCAN オーバースキャン	切取画面

・*INFORMATION*（このモードは、ビデオ解像度を示します）

H. FREQUENCY H.周波数	33.7KHz	（ビデオソースが HDMI RGB 1920 x 1080i x 60 Hz の時の表示例）
V. FREQUENCY V.周波数	60.0Hz	
RESOLUTION 解像度	1920×1080I	

・*PIP SETTING　PIP 設定*

ここでは、ピクチャーインピクチャーの表示を調整します。サイズ、位置、SWAP をこのメニューで設定することができます。

PIP	PIP（ON）/ OFF	
	SOURCE ソース	※下記をご覧ください
	POSITION 位置	LF-TOP 左上 / RT-TOP 右上 / RT-BOT 右下 / LT-BOT 左下
	SIZE 大きさ	LARGE 大 /MID 中 / SMALL 小
	SWAP	PIP ソースとメインソースを交換します
EXIT 出口		

メイン/バックグラウンドのソースは、PIP メニューに入る前にフロントパネル上で選択することができます。
メインソースがデジタルの場合、PIP ウィンドウがアナログソースになります。逆の場合も同じです。
PIP ウィンドウとメインソースの両方にアナログ入力、または両方にデジタル入力を使うことはできません。

例

メインソースが HD-SDI[デジタル] の場合、PIP ウィンドウは YUV またはコンポジット[アナログ]
メインソースが HDMI[デジタル] の場合、PIP ウィンドウは YUV またはコンポジット[アナログ]
メインソースが YUV[アナログ] の場合、PIP ウィンドウは SDI または HDMI[デジタル]
メインソースが CV1[アナログ] の場合、PIP ウィンドウは SDI または HDMI[デジタル]

・*LANGUAGE　言語設定*

English 英語 （デフォルト）	Italiano イタリア語
Français フランス語	Dutch オランダ語
Deutsch ドイツ語	Português ポルトガル語
Español スペイン語	Russian ロシア語
	EXIT 出口

・*SETUP MENU　無操作時の終了時間設定*

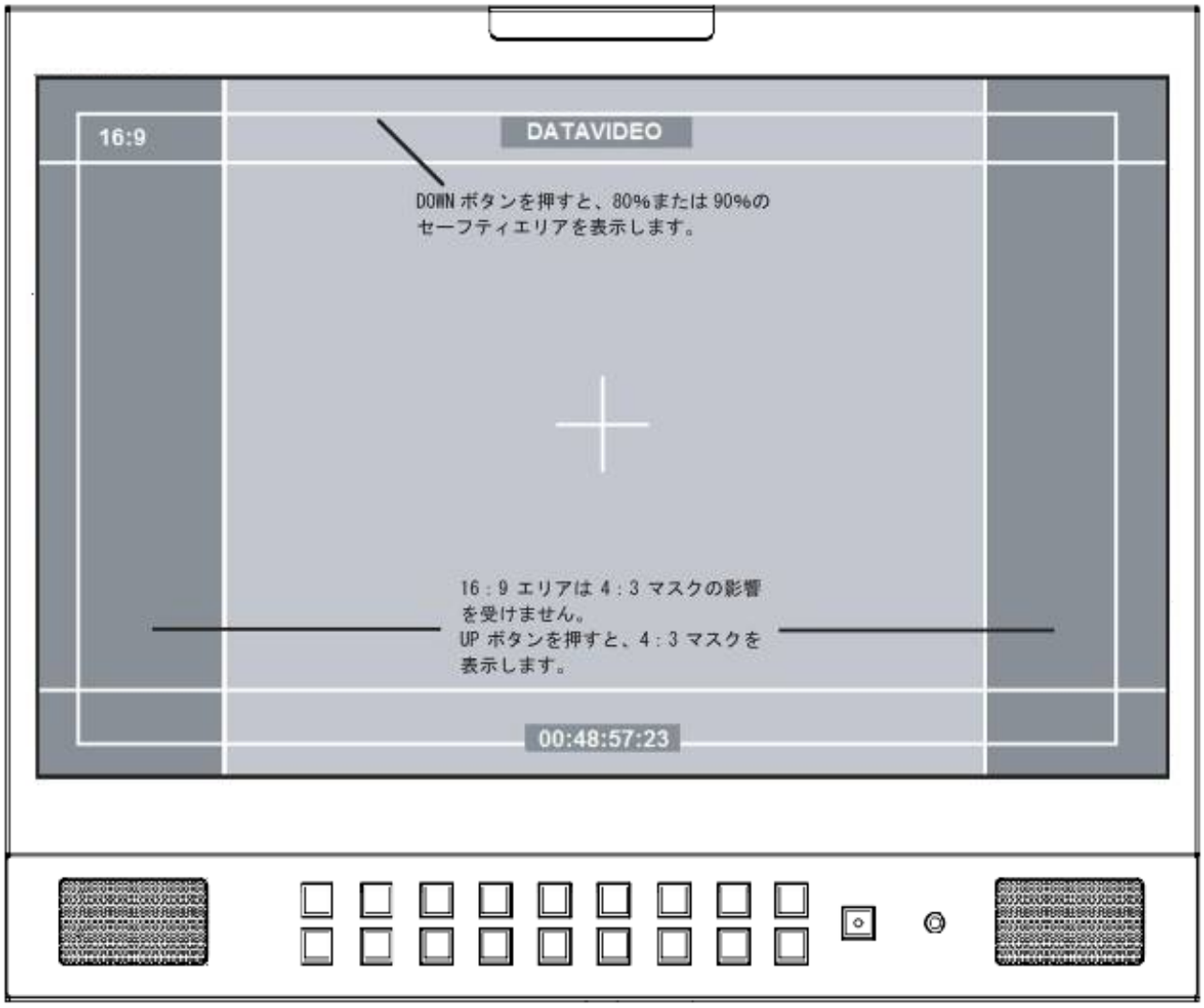
OSD TIMEOUT	5~120 sec
EXIT 出口	

・*SPECIAL FUNCTION Ⅰ　特殊機能設定Ⅰ*

FRAME RATIO フレーム比 （セーフティエリアの枠を画面に表示します）	OFF / 80% / 90% / 93%
4:3 MARK LINE 4:3 マスクライン	ON / OFF
CENTRAL MARK センターマーク	ON / OFF
CINEMA ZONE MARK シネマゾーンマーク	ON / OFF
MASK TYPE マスクタイプ	オーバーレイ / トランスペアレント（透過）
EXIT 出口	

16:9 モードで 4:3 マスクを使用する

16:9 の映像を見ているときに 4:3 のモニターに表示される映像と文字を確認する場合には、4:3 マスク機能があります。16:9 の映像を見ながら、ボタンを 1 回押すだけで簡単に確認することができます。



4:3 マスクは、***特殊機能設定Ⅰ***メニューでオーバーレイ、または、トランスペアレント（透過）のいずれかを選択できます。***トランスペアレント（透過）***を選択すると、マスク越しに 16:9 の映像を見ることができます。***オーバーレイ***を選択すると、マスクの外側の映像のみ見ることができます。マスクは、画面の中央 4:3 の範囲にあります。

16:9 の映像を見ながら、UP ボタンを押してマスクの ON / OFF を切替えることができます。

セーフティエリアを表示する

テレビの規格では、テレビ（受像機）やモニターに表示されるオーバースキャンやアンダースキャンのサイズが公式に定義されていません。カメラで撮影した映像の表示範囲はメーカーやモデルによって多少変わります。ありとあらゆるモニターにおいて、映像の縁は切取られても、タイトルを確実に表示するために、80%と 90%のセーフティエリアが考案されました。

特殊機能設定Ⅰメニューの***フレーム比***で、OFF / 80% / 90%/ 93%を選択します。DOWN ボタンを押すと、映像を見ながら 80%、/ 90%、または、93%の枠を表示することができます。

・*SPECIAL FUNCTION Ⅱ　特殊機能設定Ⅱ*

TIMECODE SETUP
タイムコード設定(SDI のみ)

	TIMECODE DISPLAY タイムコード表示	ON / OFF
	TIMECODE POSITION タイムコード表示位置	LT-TOP 左上 / RT-TOP 右上 / MID-BOT 中央下 / RT-BOT 右下
	TIMECODE HD LINE タイムコード用 HD ライン	AUTO / 8～20
	TIMECODE SD LINE タイムコード用 SD ライン	AUTO / 10～21
	TIMECODE FONT SIZE 文字サイズ	SMALL 小 / LARGE 大
TITLE EDITOR タイトル編集	TITLE DISPLAY タイトル表示	ON / OFF
	TITLE POSITION タイトル表示位置	MID-TOP 中央上 / MID-BOT 中央下
	FONT SIZE 文字サイズ	SMALL 小 / LARGE 大
	FONT COLOUR フォント色	RED 赤 / GREEN 緑 / ORANGE 橙色 / WHITE 白
	EDIT TITLE 文字の編集	文字：A～Z

EXIT 出口

・*SETUP NETWORK　ネットワーク設定*

DHCP	ON / OFF	
IP	127.127.127.127.	（デフォルトの設定）
MASK	255.255.255.255.	
GATEWAY	127.127.127.127	
MAC	xx.xx.xx.xx.xx.xx	

EXIT 出口

詳しくは、パソコンからの遠隔操作によるモニター設定(P13)をご覧ください。

・*UPDATE F.W.　F.W.アップデート*

UPDATE SCALER F.W.

SCALER VER

UPDATE FPGA F.W.

FPGA VER

EXIT 出口

詳細はファームウェアアップデート設定をご覧ください。(P12)

・*FACTORY RESET　工場出荷時設定リセット*

モニターの設定をすべて工場出荷時の状態に戻す際はこちらを選択してください。

・*AUDIO CONTROL　オーディオ設定*

INTERNAL AUDIO 内蔵オーディオ	ON / OFF / MUTE CONTROL
EXTERNAL AUDIO　外部オーディオ	ON / OFF / MUTE CONTROL
AUDIO INDICATOR インジケーターの表示(※)	ON / OFF
AUDIO CHANNEL L	1/2/3/4/5/6/7/8
AUDIO CHANNEL R	1/2/3/4/5/6/7/8
EXIT 出口	

(※)このオプションがオンの場合、ディスプレイの左角に dBFS オーディオピークメータが表示されます。
このディスプレイは 8 チャンネルの SDI ソースと 2 チャンネルの HDMI ソースを表示します。

FUNCTION(ファンクション)ボタン - ピクセルズーム機能

この機能は 720p の解像度で、HD-SDI と HDMI のソースを使用する為に設計されています。 画面上の映像を拡大表示するときに、このボタンを押してください。この機能は、元の入力映像のピクセル縦横比は変更しません。

FUNCTION ボタンで、ズームを 1 倍、2 倍、4 倍、8 倍に切り替えることができます。

UP (▲) / DOWN (▼)、- (◄) / + (►)のボタンで、ズーム映像を上下左右に動かすことができます。

ズーム時は、モニター全体に表示されていないという合図/警告として FUNCTION ボタンが赤く点滅します。

ズームモードを終了する場合は MENU キーを押してください。

ファームウェアアップデート設定

datavideo では新機能の追加、又はバグを修正する為、随時新しいファームウェアをリリースすることがあります。お客様の好みや要望がある場合、又は最寄りのディーラーまたは販業者に連絡可能な場合、お客様自身でファームウェアをアップデートすることができます。

ここではファームウェアアップデートプロセスを説明します。アップデート完了までの所要時間は約 15 分です。

・TLM-170P モニターへ最新のファームウェアアップデート。
　ファームウェアファイルは御近くの datavideo オフィスまたはディーラーから入手できます。
・USB A コネクタによる 128MB 以上の USB2.0 フラッシュメモリ

新しいファームウェアをアップデートする USB フラッシュメモリに関して、下記 4 種類を推奨しています。アップグレードの際は、こちらからお選びください。全て TLM-170P のダウンロードテストに合格しています。

a. Sony 8G (Micro Vault USB flash drive)　　**b. SanDisk 8G (Cruzer Glide USB flash drive)**
c. Transcend (Jet Flash16G)　　**d. Kingston (DT101 G2 8GB)**

[アップデート手順　SCALER F.W. / FPGA F.W.　共通]

1. 圧縮・供給されたアーカイブ又は rar ファイルを解凍し取り出します。
2. USB2.0 フラッシュメモリをあらかじめフォーマットにして空にします。
3. 解凍して取り出されたファイルをコピーして USB2.0 フラッシュメモリに転送します。
   ※ファイルの中身だけをコピーしてください。フォルダごとコピーするとアップデートできません。

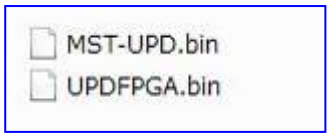
4. USB2.0 フラッシュメモリを TLM-170P モニターの後部の SERVICE のラベルが貼られている USB 2.0 ポートに差し込みます。
5. メインメニューを表示するために、モニターの電源を入れ、MENU ボタンを押します。
6. メニューのボタン[UP、DOWN & ENTER]を使い“SETUP F.W”を選びます。
7. メニューのボタン[UP、DOWN & ENTER]を使い、
   SCALER F.W.の場合は **“UPDATE SCALER F.W.”**
   FPGA F.W.の場合は **“UPDATE FPGA F.W.”**　　を選びます。
   また、実行する際は UP (▲)ボタンを押してください。

8. アップデートの進行中、TLM-170P のタリーライトは様々な色で点灯します。
9. TLM-170P のモニターはアップデートが終了すると自動的に再起動します。

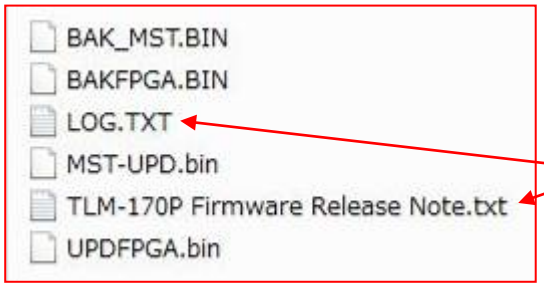
“SCALER F.W.”・“FPGA F.W.” それぞれ同じ手順でアップデートを行ってください。

※アップデート中は如何なる理由が発生しても中断しないでください。故障につながる恐れがあります。

（USB フラッシュメモリにコピーするファイル　アップデート前）



（USB フラッシュメモリ内のファイル　アップデート後）



アップデート後は左図のようにバックアップデータ（BAK）が自動的に作成されます。

アップデートに関係ないファイル

パソコンからの遠隔操作によるモニター設定

TLM-170P にはブラウザ機能があり、LAN を使って設定することができます。十分なネットワーク環境下であれば、1台のコンピュータで設定することができます。

[DHCP ネットワーク接続を用いた設定]

1. TLM-170P と LAN にて PC と接続します。
2. TLM-170P のモニターに電源を入れ、MENU ボタンを押してメニューを表示させます。
3. Up/Down のボタンを使い“SETUP NETWORK”を選択し、ENTER ボタンを押します。
4. メニューオプションで DHCP を “ON” に設定し、ENTER ボタンを押します。
   ※メニュー画面に表示される TLM-170P の IP アドレスと設定するコンピュータの IP アドレスを、事前に記録しておいてください。また、IP アドレスは DHCP OFF の状態であれば、Up/Down のボタンを用いユーザー任意で設定することができます。
5. **→ P14 [コンピュータのモニターへ設定画面を出す方法（DHCP ネットワーク接続・LAN 接続 共通）]へ**

[LAN 接続を用いた設定]

1. イーサネット RJ-45 クロスケーブル、またはストレートケーブル（HUB を使用）を使い、TLM-170P と起動中のコンピュータを接続します。
2. TLM-170P のモニターに電源を入れ、MENU ボタンを押してメニューを表示させます。
3. Up/Down のボタンを使い“SETUP NETWORK”を選択し、ENTER ボタンを押します。
4. メニューオプションで DHCP を “OFF” に設定し、ENTER ボタンを押します。
5. 下記のような情報が表示されます。 また、IP アドレスは Up/Down のボタンを用い、ユーザー任意で設定することができます。

デフォルト				
DHCP:	ON			
IP Address:	127.	127.	127.	127.
Subnet Mask:	255.	255.	255.	255.
Gateway:	127.	127.	127.	127.

ユーザー任意 （例）				
DHCP:	OFF			
IP Address:	192.	168.	0.	10.
Subnet Mask:	255.	255.	255.	0.
Gateway:	192.	168.	0.	1.

6. Windows7 の場合、コンピュータから下記手順で IP アドレスの設定・記録をしてください。
   コントロールパネルを開く → ネットワークと共有センターを選択
   → ローカルエリアの接続を選択し開く → ローカルエリア接続の中のプロパティを開く
   → インターネットプロトコルバージョン4を選択しプロパティを開く → 次の IP アドレスを使うを選択
   → IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力し、記録する。

ユーザー任意 （例）				
DHCP:	OFF			
IP Address:	192.	168.	0.	20.
Subnet Mask:	255.	255.	255.	0.
Gateway:	192.	168.	0.	1.

7. ネットワークの状態を保存し、全てのウィンドを閉じてください。
8. **→ P14 [コンピュータのモニターへ設定画面を出す方法（DHCP ネットワーク接続・LAN 接続 共通）]へ**

[コンピュータのモニターへ設定画面を出す方法（DHCP ネットワーク接続・LAN 接続 共通）]

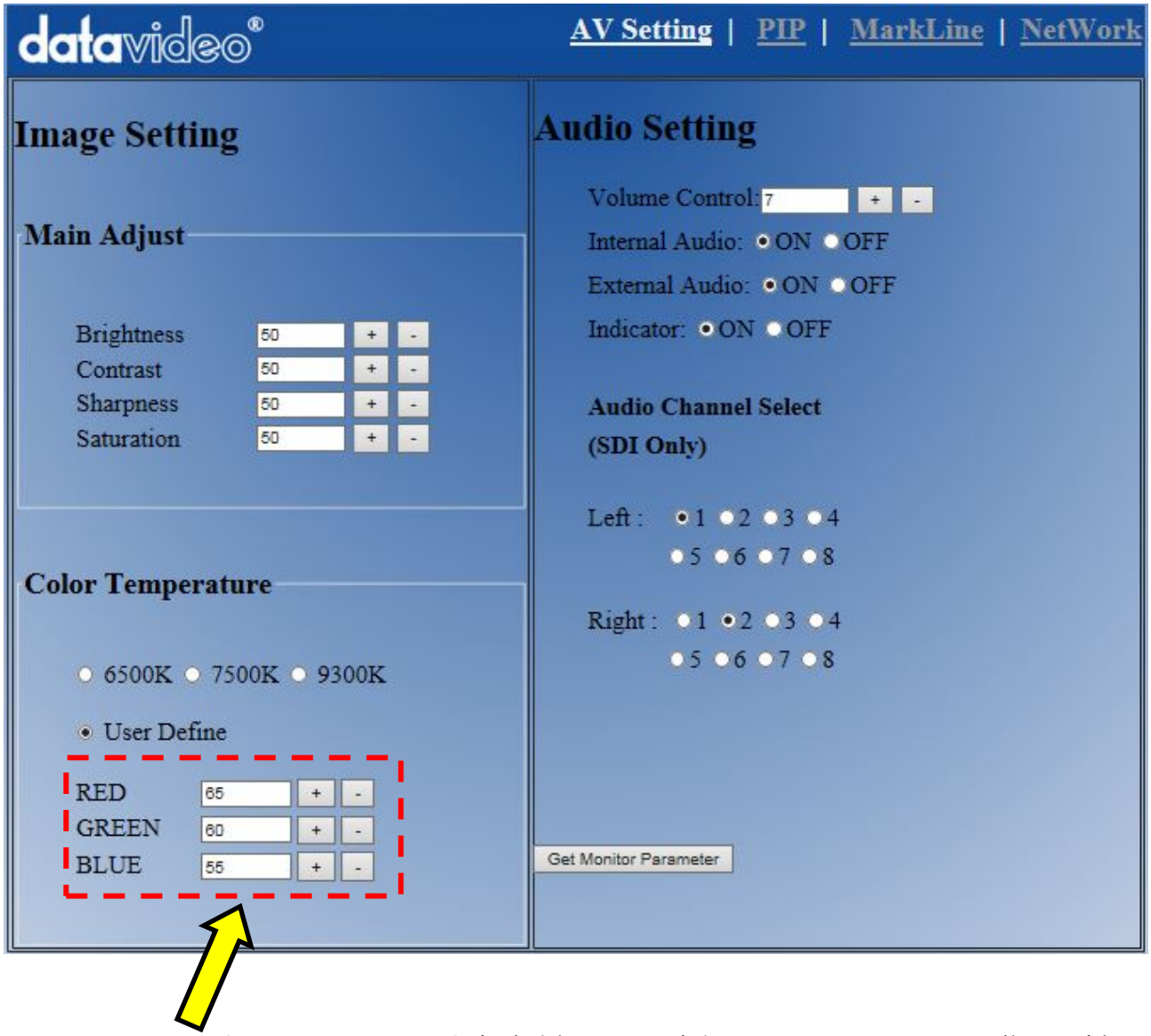
Ⅰ. 同じネットワークの上のコンピュータで、Internet Explorer または Google クロムなどのウェブブラウザを開いてください。ブラウザウィンドウ上部のアドレスバーの内容を削除し、記録しておいた TLM-170P の IP アドレスを入力し、ENTER を押してください。

Ⅱ. TLM-170P のセットアップメニューがウェブブラウザ上に表示されます。
ここでコンピュータのマウスとキーボードを使い、モニターの設定を変更することができます。

[DHCP ネットワーク接続を用いた設定]、又は**[LAN 接続を用いた設定]**の手順が一度施行されている場合、次回以降はステップⅠから再開することができます。

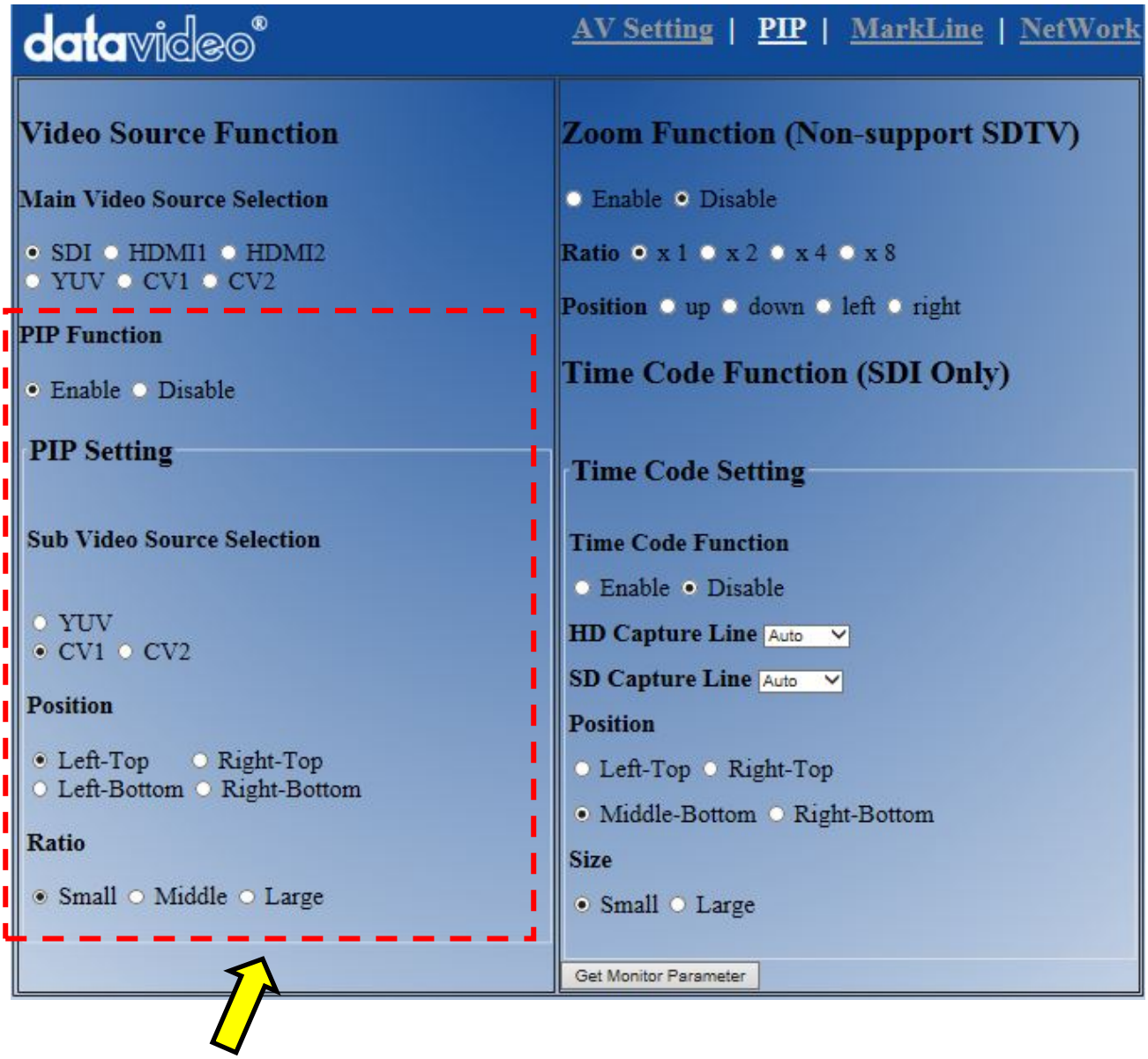
[コンピュータに表示されるモニター設定ウィンドウ]

・AV Setting



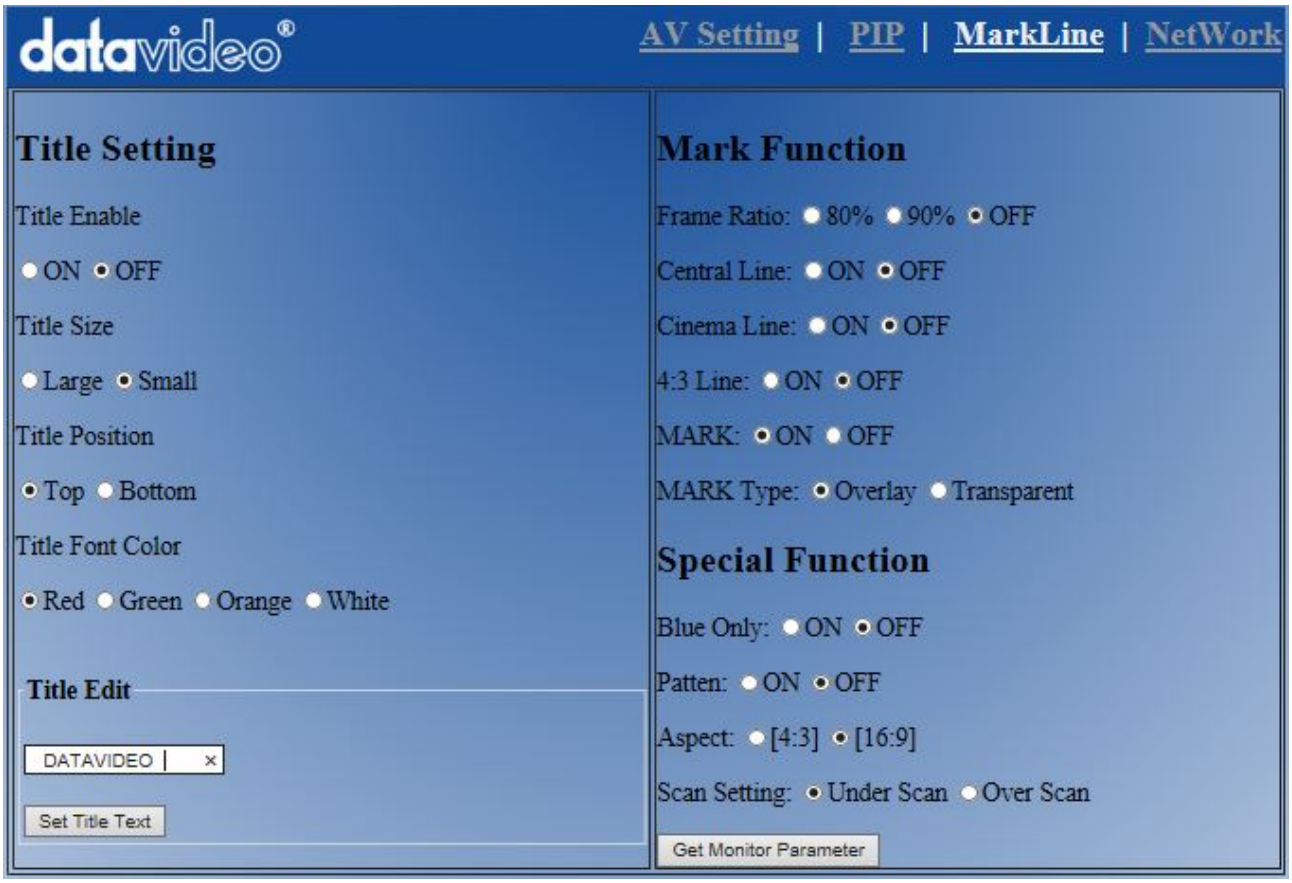
Color Temperature において User Define 以外が選択されていると、各色（RED、GREEN、BLUE）の調整項目が表示されません。（デフォルトでは 7500K が選択されています）

・PIP

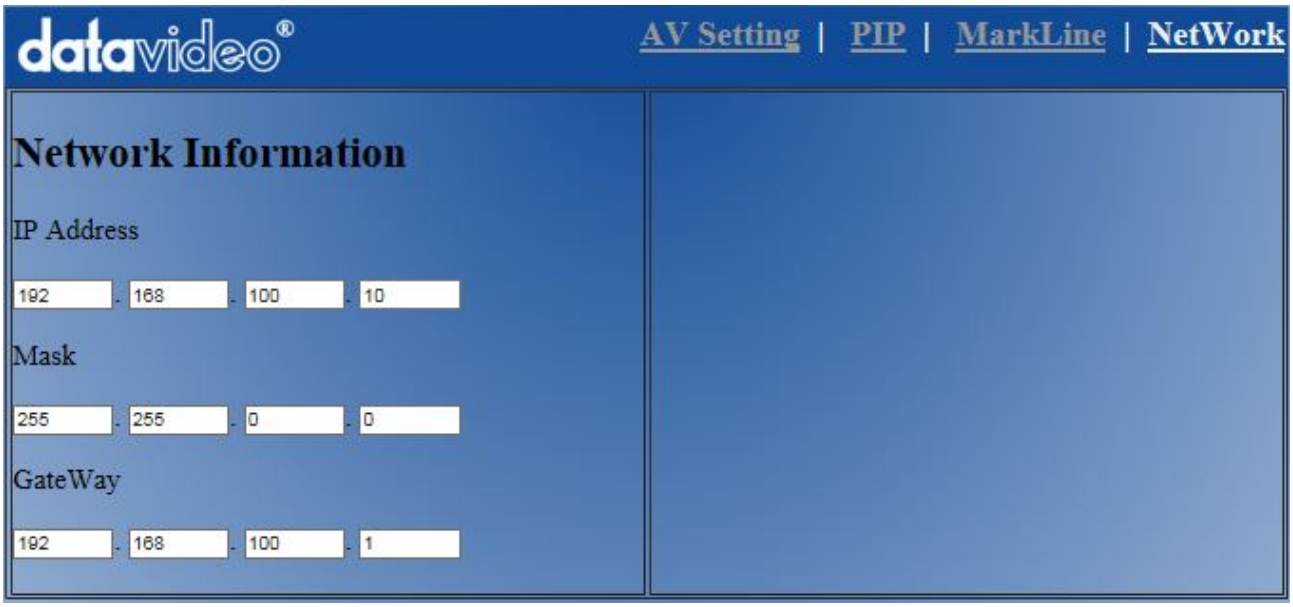


PIP Function で Disable が選択されていると、PIP Setting 内の選択項目が表示されません。
（デフォルトでは Disable が選択されています）

▪ MarkLine

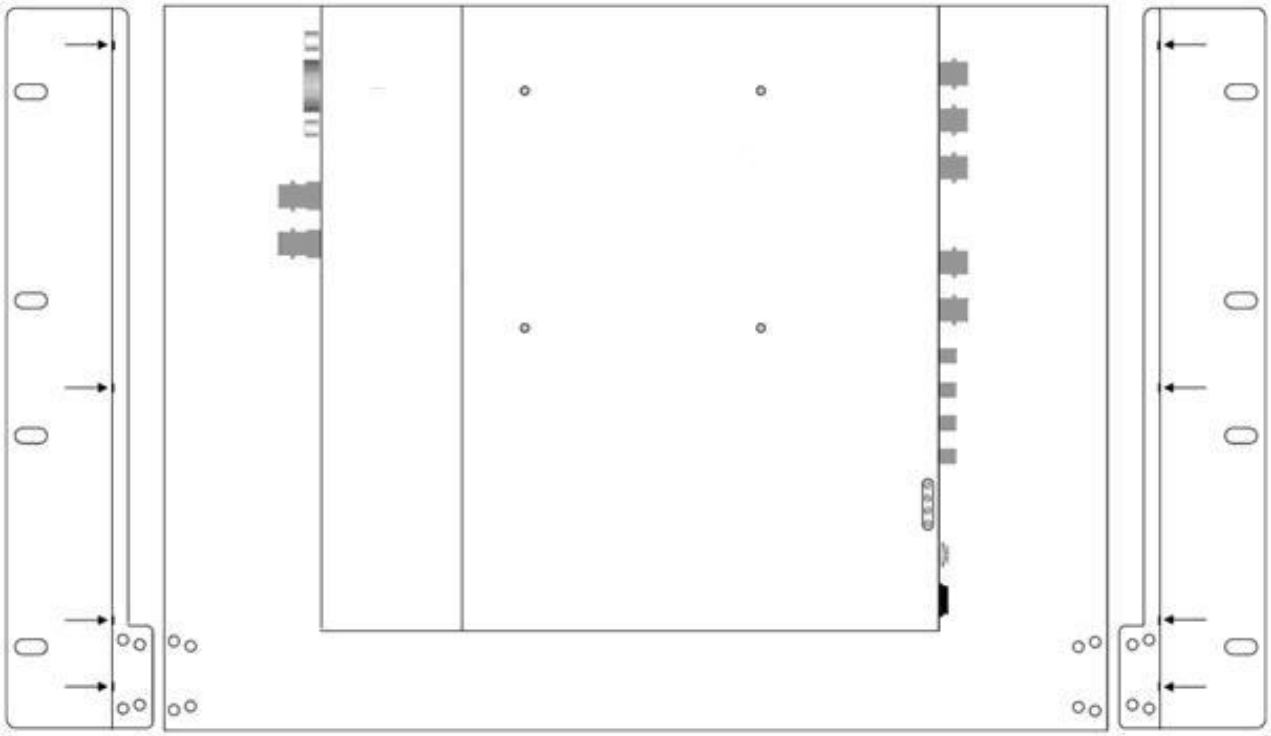


▪ NetWork

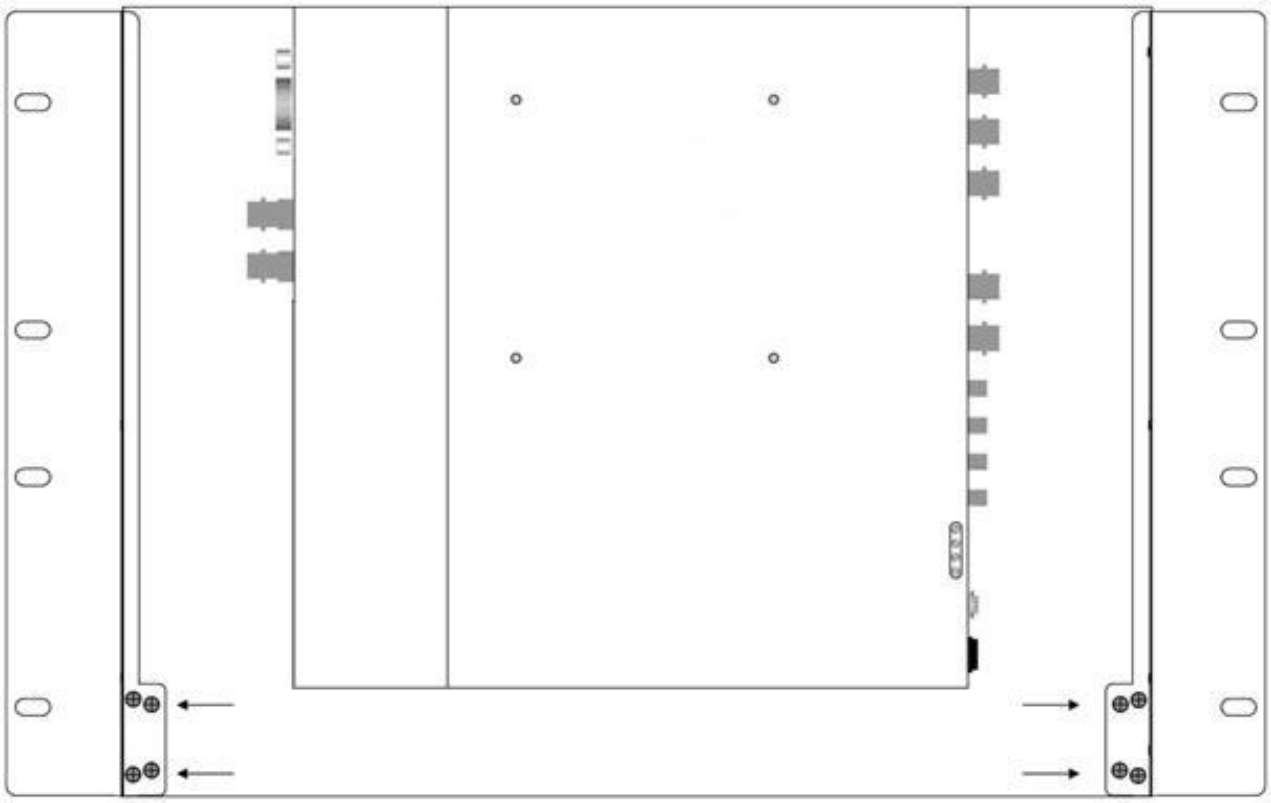

datavideo®
AV Setting | PIP | MarkLine | NetWork
Network Information
IP Address
192 . 168 . 100 . 10
Mask
255 . 255 . 0 . 0
GateWay
192 . 168 . 100 . 1

TLM-170PR に 19 インチラックイヤー金具を取り付ける

TLM-170PR には 19 インチラックイヤー金具が付属しています。モニターをラック(19” 7U)に取付けてください。



付属のねじで左右のラックイヤーを取り付けます。上図のように両側各 4 箇所をねじで締めます。
下図のように金具の下部もねじで締めます。

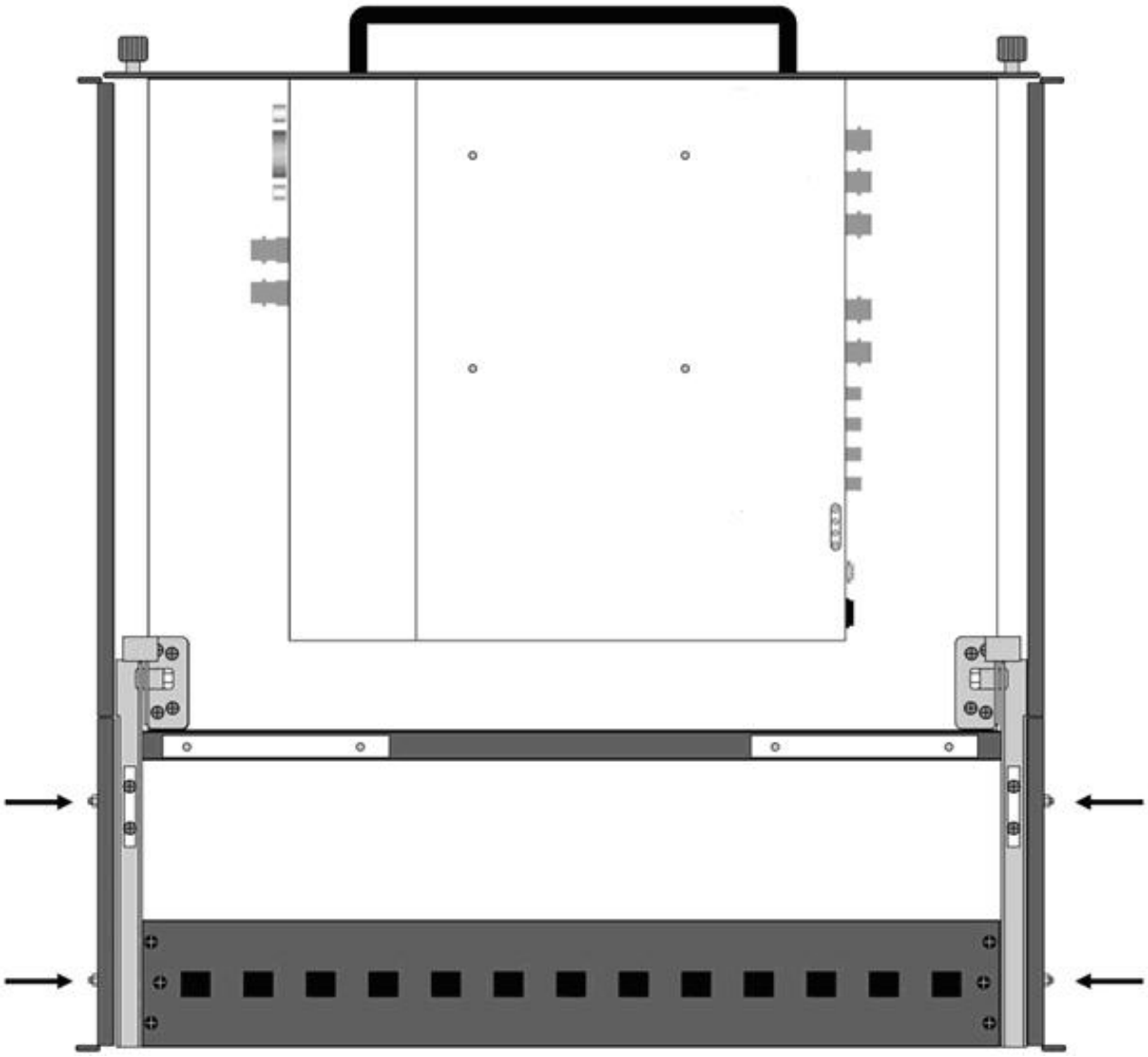


TLM-170PM を 19 インチラックに取付ける

TLM-170PM はラックマウント型になっています。畳んだ状態では 1U の高さですが、操作時の開いた状態での高さは約 8U（持ち手部分含む）になることを頭において十分なスペースを開けておいて下さい。

モニターにはスライドモニターレールが付いており、キャビネットの前部と後部のモニターレールの間隔に合うように後部で長さ調節ができるようになっています。

長さを調整するには、下図に示された 4 つの調整ねじを緩め、モニターレールを必要なだけ後ろに引っ張ります。そして、ねじを再び締めます。



リアパネルを上向きにしてモニターをラックに取り付けます。前後のラック取付けねじがしっかり締まっているか確認して下さい。

一旦取り付けたら、フロントパネルの両サイドにある 2 つのロックねじを緩めます。ハンドルを持ってモニターを前方に引っ張ります。モニターが完全に前方に出たら、垂直な位置にちょうつがいを付けます。

畳むには、モニターの上部を前方に引っ張ります。水平な位置にちょうつがいが下がります。
ロックねじを締められる位置までラックに押し戻します。

注. モニターを畳むとき指を挟んだり、ラックですりむいたりしないよう注意して下さい。

仕様

型番	TLM-170P / PR / PM
ディスプレイ	17.3 インチワイド TFT LCD（LED バックライト）
解像度	1920×1080 ピクセル
アスペクト比	16:9 / 4:3
タリーランプ	赤 / アンバー 2 種類
視野角	上下 +60° / −80°　左右 +80° / −80°
輝度・コントラスト比	400 cd/m² ・ 600:1
カラープロセス	ブライトネス、コントラスト、カラー、ティント、シャープネス、色温度
映像入力	3G/HD/SD-SDI（BNC）×1 系統（アクティブスルーアウト付）、 HDMI（HDMI 1.3）×2 系統 コンポーネント（BNC×3）×1 系統 コンポジット（BNC）×2 系統（NTSC / PAL 自動認識・CV2 のみアクティブスルーアウト付き）
音声入力	不平衡型音声（RCA）×モノラル 3 系統（コンポジット×2 系統、 コンポーネントに対応）、 HDMI （HDMI 1.3） ×2 系統 （2ch エンベデッドオーディオ）、 3G/HD/SD-SDI （BNC） ×1 系統 （8ch エンベデッドオーディオ）
その他の入力	タリー（3.5mm ミニジャック）×1 系統
その他の出力	外部スピーカー×1 系統（L/R 2W）、ヘッドホン（3.5mm ミニジャック）×1 系統 内蔵スピーカー×2
映像仕様	3G/HD/SD-SDI 信号（HD-SDI　SMPTE 425M－A/B 規格、SD-SDI　SMPTE125M 規格） インピーダンス：75Ω リターンロス HD ：> 15dB （5MHz～750MHz） > 10dB （750MHz～1.5GHz） SD ：> 15dB （5MHz～270MHz） イコライゼーション：270Mbps 200m Belden 8281 ケーブル使用時 1.485Gbps 100m Belden 1694A ケーブル使用時 コンポジット信号 帯域 ：> 5.0MHz　DG ：< 3%　DP ：< 3°　S/N 比 ：> 50dB コンポーネント信号 帯域 ：> 5.2MHz　DG ：< 3%　S/N 比 ：> 50dB
動作環境温度	0℃～50℃
動作環境湿度	10% ～ 90% (結露なし)
寸法 / 質量	TLM-170P：幅 445mm×高さ 346mm×奥行 145mm スタンド含む / 約 6.0kg TLM-170PR：幅 482mm×高さ 309mm×奥行 41mm ラックマウント金具含む / 約 6.0kg TLM-170PM：幅 486mm×高さ 44mm×奥行 442～501mm の間で調整可能 1U ラックマウント金具含む / 約 8.0kg
電源	DC 12V　30W

仕様は予告なしに変わることがあります。

datavideo は、 Datavideo Technologies Co., Ltd の登録商標です。
日本語訳・制作　株式会社エム・アンド・アイ　ネットワーク
2014.12.22